

企画提案型アウトリーチ相談・支援【仙台市】

総事業費	3,000 千円
交付金額	2,250 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・生理用品など生活するうえで必須な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につながることのできない女性も一定数存在すると思われる。

事業の特徴

プロポーザル方式による企画提案を募集した。

事業の効果

様々な事情で支援機関につながっていない10代から20代の若年期を含めた女性を適切な相談・支援につなげることができた。

目的・目標

貧困や孤立、性被害などのリスクを抱えている女性を相談・支援につなげる。

【数値目標】アウトリーチによる声かけ 延べ300人

【達成状況】延べ約660人

連携団体

- ・市内の女性支援団体
- ・県警、地域のまちづくり団体への情報提供

今後の課題

更なる事業の周知、相談ニーズへの対応、相談機関や公的支援との連携など

●企画提案型アウトリーチ相談・支援

1 開催概要

貧困や孤独、性被害などのリスクを抱える若年期を含めた女性を相談・支援につなげるため、アウトリーチ相談・支援(SNSや訪問等による相談、公的機関等への同行、繁華街での夜回りなどを想定)について、プロポーザル方式により企画提案を募集し、提案のあった居場所の開設と夜回りを組み合わせた事業を採択し、実施した。

実施内容:毎週金曜日あるいは土曜日、20:00～23:00に市中心部において居場所の開設と夜回りを実施した。

実施回数:24回

居場所の利用人数:延べ96人

夜回りの声掛け人数:延べ約660人



夜回りの様子

2 事業効果及び効果検証

- ・家庭内の課題や貧困や孤立、性被害などのリスクを抱えながらも支援機関等につながっていない若年女性とつながりをもつことができた。
- ・自身を受け入れてもらえる場所を求めている若年女性が多く、改めて事業の必要性が確認できた。



リーフレット